

キクムグラ *Galium kikumugura* Ohwi

【評価理由】

個体数階級 2、集団数階級 2、生育環境階級 3、人為圧階級 2、固有性階級 2、総点 11。愛知県では生育地が少なく、存続の基盤が脆弱である。

【形態】

多年生草本。茎はやわらかく、斜上して長さ 20~40cm になる。葉は 4 枚輪生し、楕円形~狭倒卵形、長さ 6~15mm、幅 3~8mm、先端は円頭または鈍頭で短く尖り、辺縁に上向きの剛毛がある。花期は 5~6 月、枝先や葉腋から花序を出し、1~3 個の花をつける。小花柄はほとんどないものから 5mm くらいのもので長さが不同で、その基部に 1 個の披針形の苞がある。花冠は白色で 4 深裂し、直径約 1mm である。果実は楕円形で、上向きに曲がった毛がある。

【分布の概要】

【県内の分布】

東：2 豊根 (芹沢 95743, 2019-9-8)、8 鳳来北東部 (小林 51439, 1994-5-15)、11 作手 (小林 51500, 1994-5-15)。尾：46a 扶桑 (小林 68963, 2000-5-13)、50 名古屋北部 (鳥居ちゑ子 2303, 2003-5-9)、54 一宮西部 (渡辺幸子 2660, 1996-6-9)、55 稲沢 (渡辺幸子 4690, 2001-5-15)。45 犬山 (犬山城, 沢井輝男 s.n., 1934-8-14) で採集された標本もある。

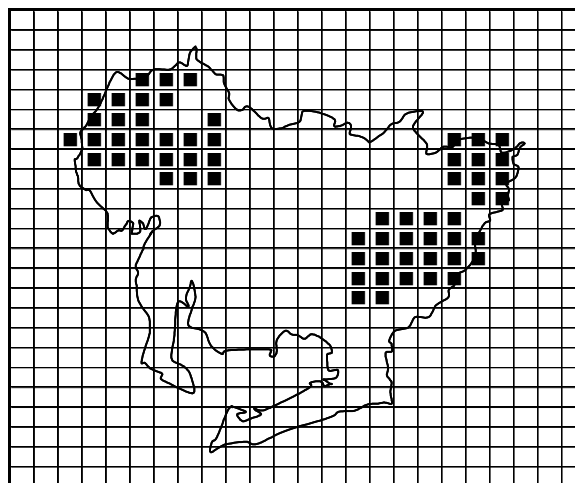
【国内の分布】

北海道、本州、四国、九州。

【世界の分布】

日本固有種。

要配慮地区図



【生育地の環境／生態的特性】

山地の林縁などに生育する。ただし愛知県の場合、名古屋北部は名古屋城、扶桑、一宮西部、稲沢は木曾川の河川敷である。

	山地	丘陵	平野	海浜
森林	○		○	
草・岩				
湿地				
水域				

【現在の生育状況／減少の要因】

二次林や造林地の林縁、林内などに生育している。特別な環境の場所に生育しているわけではないが、それでいて生育地が少ない植物である。造林地の場合は、手入れ不足で林床の光条件が悪化し、衰退傾向にある。

【保全上の留意点】

間伐など、適切な林地の手入れが必要である。

【特記事項】

目立たない植物なので、他に自生地がないか、今後更に注意して探索する必要がある。花序に小さい苞があることがよい特徴である。

【関連文献】

保草本 I p.112, 平草本 III p.54, 平新版 4 p.275, SOS 旧版 p.74.